



2020年2月10日

各位

会社名 三菱製紙株式会社
 代表者名 取締役社長 立藤 幸博
 (コード番号 3864 東証第一部)
 問合せ先
 経理部長 及川 浩典 電話 03-5600-1407
 総務・広報室長 長谷川 保則 電話 03-5600-1487

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日発表した2020年3月期第3四半期（2019年4月1日～2019年12月31日）決算において、下記のとおり減損損失を計上しましたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想について、2019年11月11日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社は、2018年11月末に八戸工場4号抄紙機の運転を休止し、その後、同抄紙機の将来の用途検討を進めて参りました。しかし、休止から1年を経過し具体的な再稼働計画が立っていないことから、減損損失11億5千9百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正

(1) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 200,000	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 1,500	円 銭 33.59
今回修正予想（B）	195,000	1,500	2,000	0	0
増減額（B－A）	△5,000	△1,000	△500	△1,500	
増減率（％）	△2.5	△40.0	△20.0	△100.0	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	203,997	△40	△914	351	10.04

(2) 修正の理由

売上高につきましては、洋紙の国内需要の減少が想定よりも大きいこと、パルプ市況の低迷により市販パルプの数量が計画より下回ることなどにより、前回予想を下回る見通しです。

営業利益につきましては、生産販売数量の減少などにより、前回予想を下回る見込みです。

経常利益につきましては、第3四半期会計期間に為替差損の減少などがありましたが、営業利益が減少することから、前回予想を下回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が減少することに加え、上記の減損損失の計上などにより、前回予想を下回る見込みです。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上